



医療法人社団 木水会

田辺クリニック 田辺 泰登

〒722-0002 広島県尾道市古浜町6-20
TEL(0848)24-1155(代) FAX(0848)24-1156

猫なで声

近所で会う子供の数が、めっきり減っています。一方ペットを飼っている家庭が増えています。統計では我が国の飼い猫894万匹、飼い犬710万匹と優に子供の数を超えています。

私が訪問する家々にも犬や猫が多く同居しています。たいがいの犬は私にほえかかります。月に何回も会わないので、なかなか懐いてくれません。一方の猫は、会っても知らん顔をするか、うさぐさそうにどこかへ去って行きます。子猫はすり寄ってくるので憎めません。家に居る時間が増えて、癒し系の飼い猫が増えているのも、うなづけます。

長寿ネコ

猫は一年で人間の20才まで成長し、その後ヒトの5倍の早さで年を取っていきます。だいたい寿命は10〜15年で、ヒトでは50才〜75才といった所です。

猫は他の動物と違って、腎臓に貯った老廃物を処理するタンパク質を持っていません。そのため腎臓病(尿毒症)で亡くなるものが少なくありません。同じネコ科のチーターでは殆どが腎臓病で亡くなり、寿命も8年と短命です。

最近日本人の研究者が、猫に欠損しているそのタンパク質を発見し、合成に成功しました。その物質を腎臓が悪くなって弱っている猫に注射すると、元気に起き上り、腎臓の働きも回復したと発表しました。

この薬が広く実用化されれば、猫の寿命を2倍の30年に伸ばすことも可能との事です。タンパク質はAIBと名付けられ、ヒトの脳に老廃物が貯まって起こる、アルツハイマー型認知症、血管に老廃物が貯まって起こる動脈硬化症の治療



2月22日は、ニャンニャンニャン子の日です。
2022年2月22日は2(ニャンコ)が6つも入る
スーパー猫の日でした。



にも使えるのではないかと期待されています。
そう言えば、認知症の検査で3つの言葉を覚えておいてもらい、後で尋ねるといふ質問があります。例題は、桜、猫、電車です。私は、尾道駅を思い浮かべ、尾道駅に停

車している電車、見上げる千光寺の桜、そして尾道観光大使の猫を連想します。これでこの質問はクリアできると思いますが、同じ質問ばかりがくるとは保証できません。

ネコ・デイスタンス

若い女性が左腕のリンパ節の腫れで来院しました。悪性リンパ腫など重い病気の可能性もあります。彼女の左腕を診ると、手首に何本も平行な筋があります。一瞬自傷行為のリストカットと身構えましたが、刃物の傷にしては細すぎます。それに肘まで平行線が続いています。ピンときたので、ペットは飼っていないかと尋ねると、案の定、子ネコを飼い始めたとの事です。ネコのツメトギをやられ、そこから細菌感染したものと考え、抗生物質を飲んでもらいました。腕の腫れもしばらくしてなくなりました。病名はそのままの猫ひっかき病です。

また猫を飼っている家の子供さんが、ハムやソーセージの食物アレルギーで来院されました。これは、ポーク・キャット症候群と言います。猫に子供さんが感作されて、豚肉にも差アレルギー反応を起こしたものです。猫と豚がヒトを介してお近づきになった訳です。そして、猫にもコロナウイルスは感染するようですが、重篤になることは稀で、猫からヒトに感染することは少ないとの事です。またネコエイズ、ネコ白血病も知られており、案外、猫とヒトの共通面は多いようです。出入り自由の猫は、戸外からノ

猫屋敷

ミヤダニを持ち込むこともあり、猫かわいがりも、ほどほどにする必要があります。

以前、警察より検案の依頼が舞い込みました。一人暮らしのおバアさんが、自宅のアパートで倒れていたのです。新聞が取り込まれないので、不審に思った大家さんが親族に連絡しました。警官と共に鍵を開けて入室して発見となったのです。玄関扉や窓は完全に施錠されていて、外部から侵入した気配は見当たりません。

おバアさんは、ヒトと会おうのを嫌っていました。買い物などの外出もなるべくヒトに会わないようにし、病院へも行かず、近所や親戚との付き合いも全くなかったそうです。唯一、猫好きで何匹か飼っているのは知られていました。

おバアさんの体を診てみると、顔や太ももの皮膚と肉が削ぎ取られています。この傷には、生活反応がなく、生前に出来たものではありません。生きていた時に出来た傷であれば、周囲の皮膚にも痕が残ります。出血の凝固があります。スパーで買った肉や魚のように血も出ず、切り口もシャープです。

それではこの傷をつけた犯人は？ふと上を見上げると、タンスの上で猫が4匹並んで我々を見下ろしていました。

おバアさんの死因は不詳の病死としました。おバアさんのお陰で猫達は2週間も生き延びることができました。窮鼠猫を咬むならぬ、窮猫人を咬むでした。

転倒にご注意

医療や介護の仕事をしていると転倒したという話を聞くことが珍しくありません。高齢者の方の3人に1人は1年に1度以上転倒しているといわれているそうです（毎月のように転んでおられる方もいますが…）。転んで打撲だけで済めば良いのですが骨折をしてしまうと長時間の安静が必要となり「寝たきり」の可能性も出てきます。

高齢者に多い骨折

1. 大腿骨骨折

太ももの付け根付近が折れやすく、折れてしまうと手術を要し1~3ヶ月程度の入院が必要。畳の生活が難しくなる

2. 脊椎圧迫骨折

背骨の骨折で尻もちをついて起こることが多い、痛みが強くて入院の対応にならないことが多く、骨折が落ち着いても痛みが長引く

3. 上腕骨近位部骨折

腕の付け根部分の骨折で手術が必要となることが多い

4. 橈骨遠位端骨折

手首の骨折で転んで手をついたと時に起きる。ギプスで1ヶ月半程度の固定となることが多いがその間は手が使えず不自由

5. 肋骨骨折

あばら骨の骨折でコルセットを1ヶ月程度巻いて自然治癒を待つことが多い

骨折をしてしまうと治るには少なくとも1ヶ月以上はかかり、骨がついたとしても痛みが残っていたり筋力が落ちて身動きが難しくなるなどして以前の生活へはすぐに戻れないことがほとんどです。

高齢者の方が骨折をする原因の多くは転倒です。なるべくならこんな辛い目には遭いたくないですね。

体のバランスを改善するお勧めの運動の紹介

- ①片手で手すりを持ち前かがみにならないように立位をとる（手すりや机などを持って転倒防止を心がける）
- ②起立した姿勢より片方の膝をなるべく高く上げる（片足立ちの姿勢）
- ③手すりを持っていない手で上げた膝をトントンと3~5回ほど軽く叩き足を下ろす
- ④今度は反対の膝を高く上げて膝を叩く
これを左右交互に10回~20回繰り返す
- ⑤次に手すりを持っていた手を反対の手と持ち替えて、先ほどと同じように膝を高く上げ、手すりを持っていない手で膝を軽く叩く動き（②~④）を左右交互に繰り返します



この運動のポイントは手すりを持っている手の使い方。この手に力を入れすぎると足や体でバランスをとることを妨げてしまい正しい訓練にならないので、手すりを持つ手はあまり力を入れないように軽く握る。バランスが崩れて危ない時だけ手に力を入れるようにしてください。

今回ご紹介した運動は一人でも安全に行えることと、バランスを良くするだけでなく足や体幹の筋力強化も期待できる運動なので歩くことが難しくなってきた方やフラツキを感じる方は転倒防止のおまじないだと思って行ってみてください。

曾根 正登

★東洋医学入門

～その125～

鍼灸師 村田 雅文

今回も経穴のお話です。足の少陽胆経

どう しりょう
瞳子膠

……中医学の古典に「眼の精華は瞳子にあり、眼球を瞳子とする。」とあります。そして瞳子は瞳孔のことを指します。この経穴は眼の外眼角の外方で眼窩外側縁の陥凹にあるのでこの名が付けました。足の少陽胆経、手の太陽小腸経、手の少陽三焦経の交わる経穴でもあります。頭痛、眼球の痛み、顔面神経麻痺などに用います。

ちょうえい
聴会

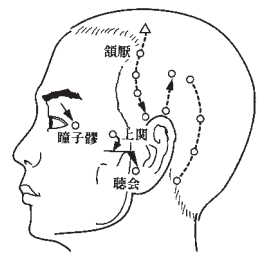
……「会」には集まるという意味があり、この経穴が聴覚を主る耳の前にあり、耳の疾患が治り、音が集まって聴覚が戻る所以この名が付けました。耳鳴り、歯痛、顎関節症、などに用います。

しょうかん
上関

……この経穴は下関の上にあり、頬骨弓を挟んで上下に相対しているため上関と呼ばれています。足の少陽胆経、手の少陽三焦経、足の陽明胃経の交わる経穴です。頭痛、耳鳴り、歯痛などに用います。

がんえん
頤厭

……「頤」とは頭を下げて頷くという意味で、「厭」は煩わしい、厄介であるという意味です。この経穴は項頸部の痛み、頭痛、頷くことが出来ないなどの症状を主治とするので、この名が付けました。足の少陽胆経、手の少陽三焦経、足の陽明胃経の交わる経穴です。片頭痛、目眩、耳鳴り、外眼角の痛み、歯痛などに用います。



お知らせ



5月のゴールデンウィークは、暦通りの休診となります。お薬切れに御注意下さい。



5月は1年間で最も紫外線が強い時期です。日増しに強くなる紫外線予防対策を行い、皮膚や目を守って下さい。引き続きコロナ対策と共に熱中症にも注意して下さい。



田辺クリニックのホームページ <http://www.tanabecl.sakura.ne.jp/>

はつらつニュースのバックナンバーが入っています。

